

## 🇧🇷 ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年3月19日

【2018年3月10日～2018年3月16日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週のブラジル・リアルは、米国の通商政策の先行き不透明感を背景に、他の新興国通貨同様に軟調な推移となり、対米ドルおよび対円で下落しました。また、これまでの急速な金利低下の反動もあり、2年国債金利は上昇しました。

大統領選を巡る政治情勢につきましては、引き続きルラ元大統領が収監されるか否かが最大の注目材料となっています。同氏の弁護団は収監回避に向けて新たな人身保護令の適用申請を最高裁に提出しました。また、世論調査では、同氏が不出馬の場合にどの支持者を支持するかが未定あるいは投票を棄権する可能性が高いと答えた有権者の割合が約40%に達しました。

一方、政府・与党の側では内閣改造に向けた動きが進行しています。10月の統一選挙に出馬する予定の閣僚は4月7日(現地、以下同様)までに辞任する必要があり、教育相や保健相など複数の閣僚が交代する見込みとなっています。

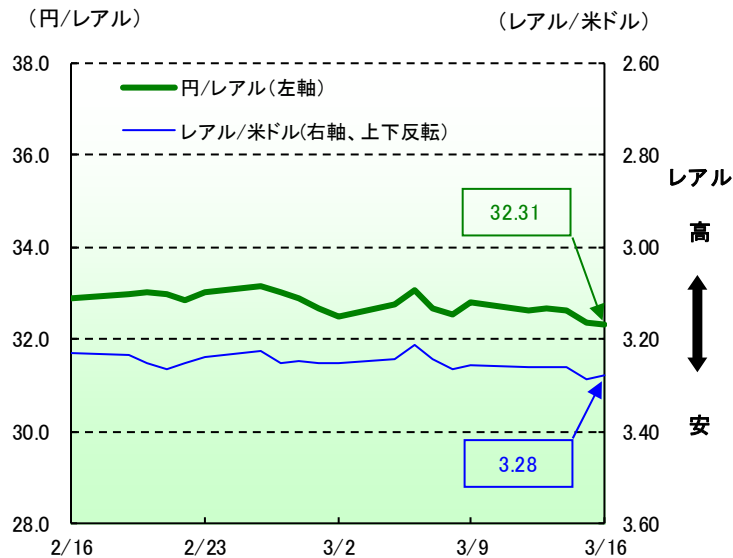
### 【2】今週の見通し

今週は20日から21日にかけて開催されるCOPOM(金融政策委員会)での金融政策変更の有無に注目が集まります。市場予想では、政策金利を0.25%ポイント引き下げて6.50%とすることが見込まれています。前回2月のCOPOMにおいてブラジル中央銀行が利下げサイクルの停止を示唆したことは整合性を欠くものの、その後発表された各種インフレ率が下振れしたこともあり、今回の追加利下げは正当化されると考えています。現段階では、今回をもって利下げが停止される可能性が高いと想定されていますが、実際にブラジル中央銀行が声明文において今後の利下げサイクルについてどのように言及するかも大いに注目されます。仮に利下げサイクルの継続が示唆された場合、米国との金利差縮小を材料として、ブラジル・リアルが対米ドルで軟調に推移する可能性もあるため注意が必要と考えています。

その他の経済指標では、経済活動指数やインフレ率(IPCA-15)の発表が予定されています。後者の市場予想は前回同様に前年比2.8%台の水準となっており、インフレ圧力の乏しい状態が続く見込みです。

### 【ブラジル・リアル 為替推移】

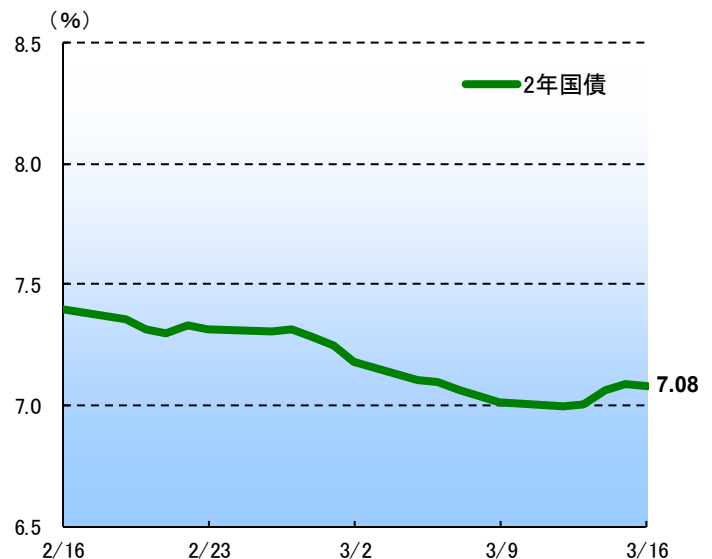
(2018年2月16日～2018年3月16日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【ブラジル 金利推移】

(2018年2月16日～2018年3月16日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>